

教授

松井 徳造

研究業績 

Matsui Tokuzo



《受験希望者へのメッセージ》

精神医学における診断学上の位置づけと鑑別診断については、ICDとDSMでも異動がありますが、不安障害とその関連疾患の診断のプロセスについて厳密な検討を加えます。精神症候学や精神病理学的な視点が求められます。

【研究分野・専門】

精神活動（精神医学）
・精神医学、遠隔診療

【研究テーマ】

身体醜形障害についての、DSMやICDにおける診断学的な位置づけの変遷とその鑑別診断について調査研究を行っています。この分野は、妄想性障害や社交不安障害などとの異動や重複が再三議論されてきた重要な分野です。さらに、近年は形成外科など近接領域におけるアピアランス〈外見〉の問題とも関連しており、他領域との連携も重要な方向性となってきています。今一度、症候学の視点から精神病理学的な検討を加え、またエビデンスのある治療の方向性について検討を行っています。



tokuzo_matsui@hyo-med.ac.jp